

イベント日程

広島学院スクールガイダンス | 6月13日(土)

文化祭 | 6月20日(土)、21日(日)

入試説明会 | 9月12日(土)

体育祭 | 10月2日(金)

その他の広報イベントに関する情報は、
本校ホームページにて随時お知らせします。

ACCESS



JR 山 陽 本 線 / 西広島駅で下車後、徒歩で約30分またはボンバスへ乗り換え、
学院東門前停留所で下車すぐ (バス乗車時間約10分)

広島電鉄 宮島線 / 高須電停、または古江電停で下車後、徒歩で約15分

広電バス 郊外線 / 古江停留所で下車後、徒歩約3分

 広島学院中学校・高等学校

〒733-0875 広島市西区古江上1丁目630
TEL: 082-271-0241 / FAX: 082-271-6784

公式HP



フェイスブック



インスタグラム



広島学院中学校・高等学校

2027年度 入試用 学校案内

他者のために、 他者ととともに。

BE MEN FOR OTHERS,
WITH OTHERS.



若者の教育は世界の変革である

広島学院は、原爆からの復興と世界平和の願いを込めて、

1956年にイエズス会によって設立されました。

イエズス会は、「若者の教育は世界の変革である」という理念のもと、世界各地に学校を建設し、カトリックの人間観・世界観に基づく人間形成、すなわち「奉仕の精神で社会や人類のために貢献し、それを喜びとする人間」を育成することを使命とし、愛に満ちた社会の建設、真の平和の実現を理想としています。

広島学院の設立母体であるイエズス会は、

1540年に聖イグナチオ・デ・ロヨラや聖フランシスコ・ザビエルらによって

創立されたカトリックの男子修道会です。

創立当初から、世界中にイエスの福音を伝えるとともに、

学校教育が人間形成とより善い社会の実現に大いに貢献するとの認識のもと、

青少年の教育活動に力を入れてきました。イエズス会には、

世界の67カ国に2300ほどの中学・高校と大学があり、

多くの若者がイエズス会学校で学んでいます。

いしずえ 広島学院の礎を築いた2人の神父

広島の復興のために

1945年8月6日、原子爆弾によって広島は壊滅状態になりました。当時、長束修練院の院長であったペドロ・アルペ神父は、他のイエズス会士らと共に、多数の被爆者を修練院に収容し、献身的な治療と看護により多くの命を救いました。また、街に出て瓦礫を掘り起こし、負傷者の命を助け、遺体を収容するなど、広島復興のために尽くしました。

それから数年後、イエズス会は原爆投下の地である広島に学校を設立することを決定し、その準備を始めました。

アルペ神父は、自身が体験した原爆の悲惨さを伝えるために世界を巡り、復興や学校建設のための援助を求めました。それに応えたカリフォルニアのカトリック教会の人々をはじめ、世界中から多くの支援を受け、1956年、広島学院は創立されました。広島復興のために懸命に働いたイエズス会士や、世界中の善意の人々の思いが込められた学校です。

「よきリーダーとは、人に仕える者である」

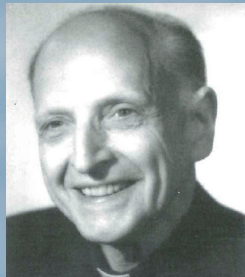
広島学院初代校長のフーベルト・シュワイツェル神父は、広島復興のためにリヤカーを引いて街中を奔走したイエズス会士の一人です。シュワイツェル校長は、生徒たちに「よきリーダーたれ」と訓示しました。そして「よきリーダーとは、人に仕えられる者ではなく、人に仕える者である」と教え、身をもってそのリーダー像を示すとともに、「四つの宝＝勤勉・明朗・敬虔・純潔」の実践を説きました。

他者のために生きる人間“Men for others”

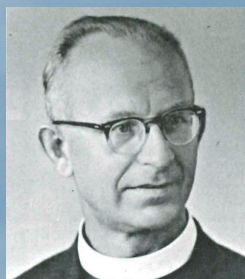
イエズス会の総長になったアルペ神父は、正義の実現のための教育を目指さなければならないとして、1973年、「イエズス会教育の目標は、他者のために生きる人間“Men for others”の育成である」というメッセージを世界中のイエズス会学校に発信しました。

シュワイツェル神父の教えもアルペ神父の教えも、「人間は、世界がより善くなるように奉仕することによって、心の豊かさを得ることができる。人間が真に幸福であると実感するのは、受けるより与えるとき、他者のために役立つときである」というカトリックの世界観に基づくものです。

恩人たちの「四つの宝を胸に日々研鑽と修養に励み、自己の能力を最大限に伸ばして、正義の実現のためにその能力を積極的に発揮するよきリーダーになるように」という教えを、広島学院は今も建学の精神として大切にしています。



ペドロ・アルペ神父



初代校長
フーベルト・シュワイツェル神父



原爆投下直後に被爆者の治療にあたるアルペ神父



古江の丘を視察する
シュワイツェル神父(右端)

ILP

IGNATIAN LEADERSHIP PROGRAM

“他者に仕えるリーダー”に

広島学院では、道徳と総合的な学習（探究）の時間を統合した形で Ignatian Leadership Program（以下ILP）を実施しています。

本プログラムは、イエズス会の創設者イグナチオ・デ・ロヨラの『靈操』の方法を教育に応用した、全世界のイエズス会学校で共有するイグナチオ的教授法（Ignatian Pedagogy）

経験→内省→実践→評価のプロセスを通じ、物事を深く徹底的に知る方法）に基づいています。生徒が「他者のために、他者とともに（Be men for others, with others.）」という言葉を体現できるリーダーとして育つことを目指すプログラムです。



経験 自らの心の動きに気付く

内省 物事を深く考える

実践 最善を選択する

評価 振り返り成長へ

中学

中学では、家族・友人などの身近な人々からはじまり、障がいのある方や元ハンセン病患者の方々、フィリピン・ネパールなどの途上国やアフリカ難民など、さまざまな立場の人々について考えることを通して、自己中心的な考え方から次第に視野を広げ、「他者」を発見していきます。

中1 ■ 身近な人々とともに
広島学院のルーツを知る

家族・友人・地域

ミサ参列、山口カトリック教会での研修など

中2 ■ さまざまな立場の人々とともに

障がい理解・生命倫理

アイマスク体験、車いす体験など

中3 ■ 世界の人々とともに

異文化理解・平和学習

姉妹校生徒との交流、長崎修学旅行など



高校

高校では、キリスト教的世界観をもとに、自分に何ができるか考え、より広い意味での「他者」を考える中で、将来の自分の生き方へとつなげていきます。6年間のILPを通じて“Be men for others, with others.”の価値観を身につけ、それを実践できる人間を育てることを目指しています。

高1 ■ 自分探し・生き方探し

自己・職業・学問研究など

社会のフロンランナーとの交流、卒業生の職業講演、大学紹介など

高2 ■ ILゼミナール

興味のある分野の探究学習

原発廃炉学、命どう宝学、地域食文化学 他 毎年十数種の講座を開講

高3 ■ 愛

隣人を愛する

学年に関わった教員による講義

出向いていって他者と出会う

国際交流

異文化に暮らす人々との対話を通して多様性に触れ、Global Citizenshipを身につけます。また、それぞれの研修に参加した生徒が、その経験をお互いに分かち合う時間も大切にしています。

◎フィリピン研修（マニラ、ナガ）[中3～高2/15名]

街頭募金の送金先施設の訪問や姉妹校との交流、ホームステイを通して、フィリピンの文化や生活、教育を約2週間にわたり体験・学習します。

◎カンボジア研修 [中3・高1/12名]

内戦や復興について学びつつ、現地の子どもたちとの交流や、現地の人々と共にクリスマスミサに参加する体験などを通して、カンボジアの歴史と文化への理解を深める約1週間の研修です。

◎カリフォルニア研修 [高1/15名]

シリコンバレーでのイマージョン（没入）体験プログラムです。姉妹校での授業やホームステイを通じ、現地の生活に溶け込みます。また、Googleやスタンフォード大学など現地の企業や大学を訪問します。国際的な視野を広げ、人生の目標を見つける約10日間の研修です。

◎ハワイ研修 [高1・高2/14～16名]

オアフ島を拠点に、環境学・平和学・移民史を横断的に探究する10日間です。大学等の教授陣による講義や、現地大学生とのディスカッション、プレゼンテーションを通じ、高度な発信力を養います。大学の寮に滞在し、現地の学術的な雰囲気を楽しむ研修です。

人間的で幸福な社会を築くために

社会奉仕

“Be men for others, with others.”の精神を実践する活動として、社会奉仕をきわめて重要なものと考えています。物質主義的な風潮の広がる現代社会にあって奉仕的な生き方を選び取り、人間的で幸福な社会を築くために仕える人間が育つように配慮しています。

[主な活動] GSS(ジャグリングによるボランティアサークル)、街頭募金、児童養護施設の子どもたちを招いてのクリスマス会 など

豊かな価値観を身につける

カトリック研究会

カトリック研究会（通称「カト研」、有志が参加）は、中1から高3までの各学年がグループに分かれて毎週約1時間、聖書を学びながら楽しいひと時を過ごします。この活動を通じて、豊かな価値観を身につけます。カト研では、他の活動とは異なる絆が生徒たちの中に生まれます。

[主な活動] 春・秋の集い、クリスマス会、釜ヶ崎研修会、炊き出し活動 など



DAILY SCHEDULE

広島学院の 1日

心と身体が健やかに成長するように、
バランスを考えて
1日のスケジュールを組んでいます。
朝礼から放課後の掃除まで、
規則正しい生活を送ります。

授業の始めと終わりには目を閉じて心を静かにする「瞑黙（めいもく）」の時間をとります。これによって気持ちの切り替えが来て、授業の集中力が増します。



広島学院の目指す教育は、家庭と学校の日常的な協力なしには達成できないと考えます。そのため、生徒全員が自宅から通学しています。生徒は登校したら、校内着に着替えて活動しやすい服装で1日を過ごします。朝早くからグラウンドで遊ぶ生徒が沢山います。



登校



～8:30

朝礼



8:30～8:40

午前の授業



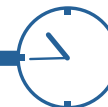
1時間目／8:40～9:30
2時間目／9:40～10:30

中間体操



10:30～10:45

午前の授業



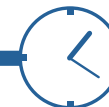
3時間目／10:45～11:35
4時間目／11:45～12:35

昼食・昼休憩



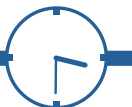
12:35～13:20

午後の授業



5時間目／13:20～14:10
6時間目／14:20～15:10
7時間目／15:20～16:10（隔週月曜）

放課後



15:10～18:00
(16:10～18:00)



月曜日は全校朝礼で、校長先生のお話を聞きます。木曜日は中高別朝礼で、クラブの表彰や、生徒会の連絡、週番の先生の話を聞きます。その他の曜日は、教室で健康観察や、1日の連絡などを行います。

天候がよく、時間割変更などがない日には、2時間目と3時間目の間に、グラウンドに出て学院体操を行います。
※新校舎建設工事期間中は実施していません。



各クラスの教室で昼食をとりながら、担任が連絡事項を伝達します。昼食は、売店で弁当・パンを購入できるほか、ランチデリバリー（昼食配達サービス）の利用も可能です。担任と一緒に食事をとります。食事の後は、校舎の外で身体を動かす生徒もありますが、職員室に来て、先生に相談や勉強の質問をする生徒もいます。

掃除の後、クラブ活動、カトリック研究会などそれぞれの活動を行います。掃除では、美化委員の生徒が下級生を指導します。教室や図書室で自習をする生徒もいます。下校時刻は17:00、自習やクラブ活動をする場合は18:00です。高校生の希望者は20:00まで自習教室を利用できます。



ANNUAL EVENTS

広島学院の 1年

仲間とともに行事に取り組むことにより、
協調性や社会性を養い、豊かな人間性を育みます。
キャンプ、クラブ合宿、体育祭、
文化祭などを通じて、同級生だけでなく
上級生や下級生と共に行動し、
協力し合うことや成し遂げることの大切さを学びます。



入学式・始業式

新入生は入学式から、在校生は始業式から新しい一年間が始まります。1学期の始業式の日には身体測定を行い、成長の記録を残します。

遠足



新学年でそれぞれまとまって学校外で活動する最初の行事です。登山やサイクリングなど、自然の中で身体を動かします。天候によっては、美術館や博物館などの施設を利用します。

祈りの集い



5月と10月は、カトリックでは「祈りの月」とされています。毎日一人ずつ担当の生徒、または先生のお話を聞きます。開始時と終了時には、聖歌を歌ったり、祈りの言葉を朗読したりします。希望者による参加です。

文化祭

文化部や各学年の他に、生徒たちが自主的にサークルを作って展示や発表をします。模擬店やステージ発表など、さまざまな企画が行われます。学年、クラスの枠を超えて、仲間同士のつながりが深まる行事です。



AUGUST

8

- クラブ合宿
- [中3～高2] フィリピン研修
- [高1] 東京研修
- 被災地ボランティア活動
- [高2] 特別授業

9

- 2学期始業式
- 中学入試説明会

体育祭

全6学年のA～D組が縦割りの4チーム(団)に分かれて得点を競います。高2学年が中心となって運営し、体育委員長、応援団長が率先して他の生徒たちを引っ張ります。この行事を通じて学校全体が一つにまとまります。



物故者追悼式



11月は、「死者の月」です。本校に関係する物故者の方々のために、全校で追悼の祈りを捧げます。当日は授業、部活はありません。朝から校内にはレクイエムが流されます。一年のうちで最も静かな一日です。

OCTOBER

10

- 体育祭
- 祈りの集い
- 2学期中間試験

NOVEMBER

11

- 保護者面談
- 物故者追悼式

DECEMBER

12

- 創立記念講演会
- 2学期期末試験
- 2学期終業式
- [中3] 街頭募金
- クリスマス会
- キャンドルサービス
- 聖夜ミサ
- [中3～高1] カンボジア研修

JANUARY

1

- 3学期始業式
- 中学入試

FEBRUARY

2

- マラソン大会
- 姉妹校受け入れプログラム (ベラミン高校)

MARCH

3

- 高校卒業式
- 学年末試験
- 3学期終業式・中学卒業式
- [中3・高2] 修学旅行
- [中1] 社会科研修旅行
- [高1] カリフォルニア研修

修学旅行

中3は長崎、高2は沖縄で、平和学習や、文化体験、スポーツ体験などを行います。また、仲間と寝食を共にすることで、より一段と学年がまとまります。



マラソン大会

中学生も高校生も10kmを走ります。一人ひとりが自身の体力の限界に挑みます。そして、走り終わった後は仲間たちと互いの努力を讃えあいます。



Uniform 制服

制服は冬服・夏服の2種類あり、季節に合わせて衣替えをします。冬服は創立以来変わらない紺の詰襟の上着に同色のズボンです。必要に応じて学校指定のコートを着用します。夏服は胸にイエズス会の紋章が入ったスタンドカラーの白いシャツ(半袖または長袖)に紺のズボンです。



制服夏服

制服冬服



校内着

左から 半袖Tシャツ、半袖ポロシャツ、長袖ポロシャツ、ベスト、Vネックセーター、トレーナー

学校を彩る“様々な放課後の活動”

豊かな情操や友情を育む場として、中1の夏休み以降、部活動に参加します。
学習との両立や、委員会活動への参加のため、運動部の活動は週2回、文化部は週2回以内と定められています。
いくつかのクラブを掛け持ちしている生徒もいます。

クラブ活動

CLUB ACTIVITIES



運動部

水泳部 サッカー部 硬式テニス部 軟式野球部 卓球部 バレーボール部 剣道部
登山部 柔道部 バスケットボール部 陸上競技部 プラスバンド部
※本校では、プラスバンド部を含めた12の部活動を[運動部]として、入部の枠組みを設定しています。

文化部

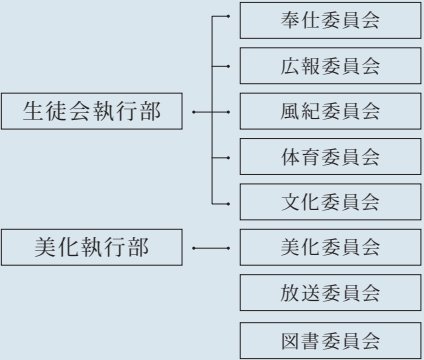
物理部 生物部 化学部
文芸部 囲碁部 将棋部
茶道部 社会研究部
書道部 美術部 天文部
演劇部 ESS 新聞部

その他の活動

●カトリック研究会
●GSS(ジャグレンジャー)
ジャグリングによるボランティアサークル
●科学オリンピック関係
化学・生物・地学・数学オリンピック、科学の甲子園、倫理・哲学グランプリ、言語学オリンピック、情報オリンピック、キャリア甲子園、物理チャレンジ など

生徒会活動

学校生活や行事など、
様々な活動を生徒主導で
自主的に行っています。



広島市内と瀬戸内海を一望できる校舎

広島学院の校舎は、広島藩主浅野家の別荘地跡に建てられ、緑豊かな丘陵地にあります。
校舎からは広島市内と瀬戸内海を一望でき、裏山のカントリーコースは運動部の練習に活用されています。自然に囲まれた環境で、若い力が育まれます。

施設紹介

SCHOOL FACILITIES

心を育てる“学びと交流のキャンパス”



ペドロ・アルペ 記念講堂

2015年に創立60周年事業として建設され、1200名収容可能です。入学式や卒業式、文化祭のオープニングなどに使用され、廊下には聖書の言葉がステンドグラスに刻まれています。



理科棟

物理・化学・生物の教科ごとに実験室や階段教室があり、設備が充実しています。階段教室は段差を利用し、実験の様子が見やすい設計になっています。

図書室



ザビエル体育館

守護聖人フランシスコ・ザビエルにちなんで名づけられた体育館で、1階に柔道場、2階にアリーナがあります。ドーム状の屋根が特徴で、採光により温かみのある雰囲気を演出しています。



上グラウンド



下グラウンド



テニスコート



プール

新校舎建設

2026年1月
第1期
工事開始

創立70年を機に、教育の質と環境をさらに高めるため新校舎の建設を進めています。

現代の教育には、生徒の主体性を支える設備、ICT環境、災害対応、バリアフリー化などが求められています。

2026年1月から第1期工事を開始し、2027年7月に引越。6学年24教室のうち18教室が新校舎、6教室が西館へ移動します。2028年12月、第2期工事後、全学年が新校舎に移ります。仮設校舎は作らず、建設中も現校舎で授業を続けます。工事期間中は仮設歩道を設置し、生徒の安全を確保します。

※完成予想図

卒業生の進路

本校卒業生 大学別進学者数（過去3年分）

大学別進学者数

国公立大学	2025	2024	2023
北海道大学	5	4	4
東北大学	3	4	1
千葉大学		2	1
東京大学	8	17	12
東京科学大学	4	1	4
東京農工大学		2	3
東京外国語大学	2		1
一橋大学	1	2	2
横浜国立大学		2	6
新潟大学		2	
名古屋大学	1	2	
京都大学	8	10	7
大阪大学	5	6	11
神戸大学	9	4	4
鳥取大学	2	3	1
島根大学		3	1
岡山大学	2	2	1
広島大学	25	23	26
山口大学	5	6	2
徳島大学	2	1	
愛媛大学	3	2	2
九州大学	11	13	11
九州工業大学	2	1	2
他国立大学	10※1	9※2	5※3
公立大学	6	7	4
計	114	128	111

私立大学	2025	2024	2023
慶應義塾大学	8	9	7
上智大学	6	2	2
早稲田大学	11	7	9
他私立大学	49	24	32
計	74	42	50

その他の学校	2025	2024	2023
気象大学校	1		
防衛大学校		1	
海外大学	1		
計	2	1	

合計	190	171	161
----	-----	-----	-----

医学科進学者数

国公立大学	2025	2024	2023
北海道大学	1		1
東北大学		1	
東京大学	1	1	
新潟大学		1	
京都大学	1	3	
大阪大学	1	2	
神戸大学	2	1	1
鳥取大学	1	3	
島根大学			1
岡山大学	2		1
広島大学	13	13	14
山口大学	3	4	1
徳島大学	1		
愛媛大学	2	2	2
高知大学			1
九州大学		1	2
佐賀大学		1	1
長崎大学	1		
熊本大学	1	1	
大分大学	1		
鹿児島大学	1		
琉球大学		1	
公立大学	2		2
計	34	35	27

私立大学	2025	2024	2023
慶應義塾大学	1		
他私立大学	8	3	7
計	9	3	7

合計	43	38	34
----	----	----	----

- 合格者数ではありません（重複なし）
- 過年度卒業生を含みます

※1 2025年度 進学者1名の国立大
帯広畜産大学・電気通信大学・滋賀大学・三重大学・長崎大学・大分大学・
熊本大学・宮崎大学・鹿児島大学・琉球大学

※2 2024年度 進学者1名の国立大
筑波大学・信州大学・岐阜大学・大阪教育大学・福岡教育大学・佐賀大学・
熊本大学・鹿児島大学・琉球大学

※3 2023年度 進学者1名の国立大
筑波大学・香川大学・高知大学・佐賀大学・鹿児島大学

学校長挨拶

あなたの代わりは誰一人おらず、あなたはあなたらしくあることだけで、とても大切な存在です。そして、あなたは唯一無二の才能を必ず備えています。それは、あなたの身の回りのご家族、友人、会ったことのない世界中のあらゆる人に対しても同様にいえることです。

だからこそ、あなたも他者のために、他者と共にある存在であって欲しい、と私たちは願っています。

あなたの才能に自分だけで気がつくことは、実は大変難しいことです。そのためには、心身の鍛錬、知性の研磨、実社会への洞察が当たり前のようにできるようになること、大切な仲間がそばにいることが大切です。私たちは、皆さんが自身の才能を見つける6年間の旅路の中で、どんな時も同伴し、一緒に悩み、励まし、喜びます。そして、「地の塩・世の光」（マタイによる福音書5章13～16節）である皆さんの才能が世の片隅を照らすこと、世に光を放つことを全力でサポートします。

昨年度、広島学院は“FORWARD AGAIN”を合言葉に、新校舎建設に向けて動き出しました。70年の歴史から、あなたと共に新たな学びを創造し、より善い社会の創生のお手伝いができる学校でありますように。

沿革

1956年	広島学院中学校創立 初代校長にシュワイツェル神父就任 第1回中学入学式 3学級 107名
1959年	広島学院高等学校開校
1962年	第1回高校卒業式
1966年	中学校1年4学級編成に
1971年	中高ともに各学年4学級編成、生徒数 1,080名
1982年	西館・小体育館竣工
1987年	プール竣工
1988年	ザビエル体育館竣工
1995年	理科棟竣工
1997年	フィリピン体験学習開始
2002年	IP 学習開始（現在は「ILP」に名称を変更）
2005年	耐震補強工事・リニューアル工事竣工 創立50周年記念式典
2015年	60周年記念事業 ペドロ・アルペ記念講堂・聖堂竣工
2016年	姉妹校5校の学校法人が「上智学院」に合併
2025年	阿部祐介、第13代校長に就任

概要

◎生徒数（募集定員184名）
中学・高校 各学年4学級 約1,100名
中学入試のみ。
高校では生徒を募集しておりません。

◎職員組織
教員約60名 事務職員約15名

日本の姉妹校

上智大学（東京）
エリザベト音楽大学（広島）
六甲学院中学校・高等学校（神戸）
栄光学園中学高等学校（鎌倉）
上智福岡中学高等学校（福岡）



第13代校長 阿部 祐介